

# 景況レポート

(6月分・情報連絡員80名)

## 非製造業の一部で好転割合が増加

### 【概況(全体)】

6月分の県内景況は、前年同月と比較して景況が「好転」したとする向き13.8%(前回調査7.5%)、「悪化」が28.8%(同35.0%)で、業界全体のDI値は-15.0となり、前月調査との比較では12.5ポイント上回った。全国及び東北・北海道ブロックとの比較では、非製造業で全国及び東北・北海道ブロック平均を大きく上回ったことで、本県の全体景況DI値の好転に波及する結果となった。

### 【業界別の状況】

鉄鋼・金属や建設業の一部で好転割合を維持しており、卸売業、小売業の一部及び砂利採取業で景況が悪化から好転に転じたものの、食料品製造業で回復傾向が見られない状況にある。全体の景況感は、各業界とも依然として需要の減退や個人消費の低迷等により景気回復を実感できない状況である。また、燃料価格の上昇によるコストの増加や人材不足が深刻となっている業界もあるなど、今後の業況については引き続き慎重に見極めていく必要がある。

### <全国及び東北・北海道ブロックとの景況DI値の比較>

	秋田県	全 国	東北・北海道
全 体	-15.0	-20.2	-24.2
製 造 業	-28.1	-16.1	-24.8
非製造業	-6.2	-23.3	-23.8

### <景況天気図>

項目	業界の景況	売上高	収益状況	販売価格	取引条件	資金繰り	雇用人員
製造業							
非製造業							

#### 【凡例】

快晴 30以上  
 晴れ 10以上 30未満  
 くもり △10以上 △30未満  
 雨 △10未満 △10未満  
 雷雨 △30以下

#### 【天気図の見方】

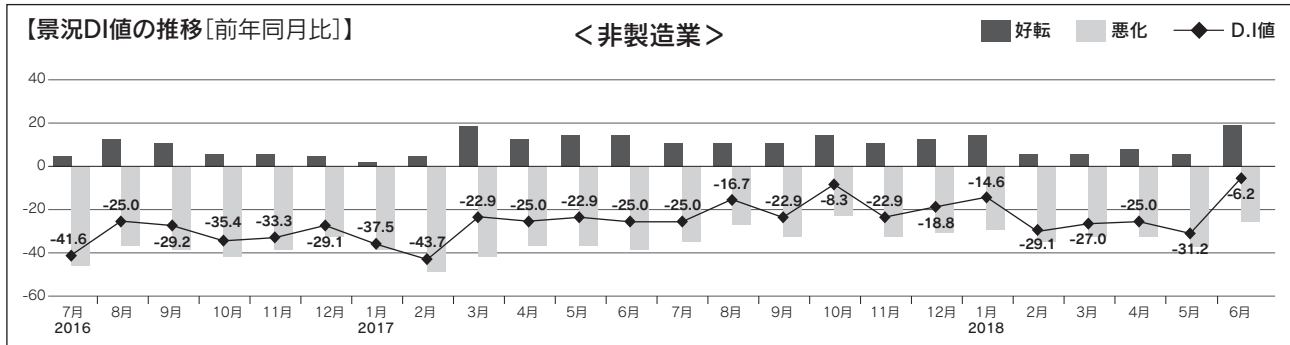
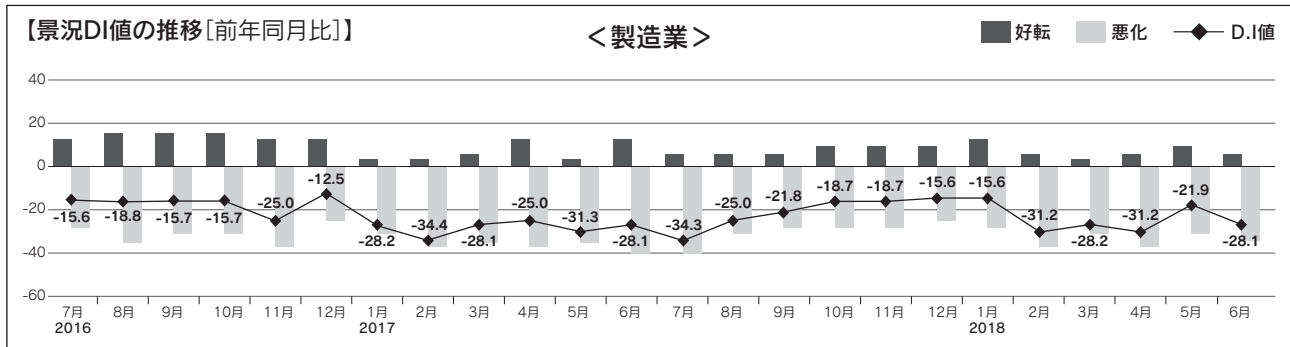
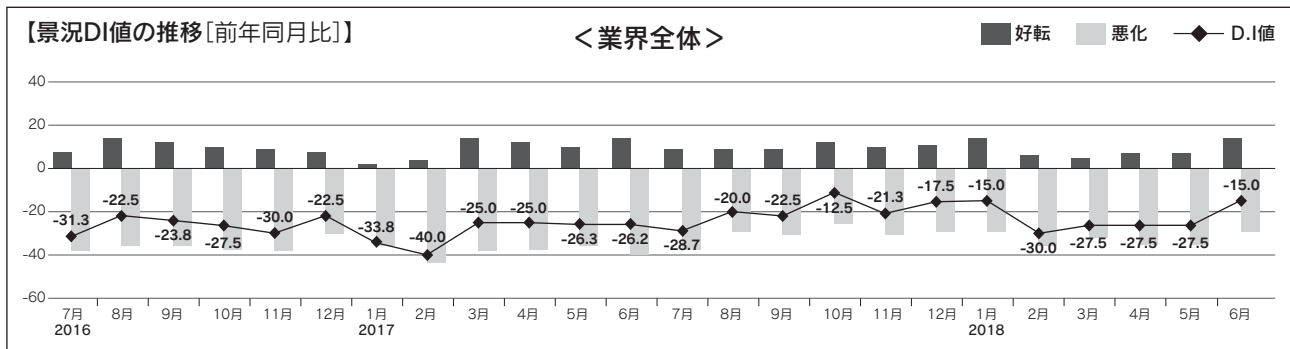
前年同月比のDI値をもとに作成しています。

※DI値とは、Diffusion Index(ディフュージョン・インデックス)の略で、増加(好転)したとする企業割合から、減少(悪化)したとする企業割合を差し引いた値です。

### 【業界の声】 ~製造業~

(回答数：32名 回答率：100%)

食料品 (豆腐)	依然として大手業者の進出による売場の占拠が拡大している。消費も低迷したままで売上は減少している。
食料品 (パン)	6月中旬以降の天候(気温や雨)の影響で売上が減少している。気温の上昇はパン、菓子業界に悪影響を及ぼしている。
食料品 (菓子)	梅雨の時期、天候不安定のため生和洋菓子は苦戦している。原材料の値上げも続き厳しさが増している。
繊維工業 (ニット)	受注量は昨年より確保されているものの急ぎの仕事・小ロットの仕事が多く、対応に苦慮している。優秀な人材の確保・育成が必要であるが、加工賃が上がり人件費の上昇分を吸収するのに苦戦している。
木材・木製品 (一般製材)	製品は生産量、販売量とも前年並みに推移しているが、原木は林道改修の遅れの影響と原木の材質低下により出材量が極端に減少している。前年比較(4月～6月)では3割の減少、原木の出材量が減少していることから原木価格の値上がりで収益の悪化が懸念される。
木材・木製品 (外材)	針葉樹厚物国産合板の品薄感は解消され、今年に入って在庫量も連続して増加傾向にあるが、合板業界では梅雨明け後の需要期に入れば直ぐに減少するとして、引き続き増産体制を継続している。
印刷	需要は停滞しており安値受注も後を絶たず、点数、量とも回復を実感するに至っていない。受注面では元号変更に関する調整事項が発生している。
鉄鋼・金属 (機械金属)	不調だった前年同月との比較では若干好転しているが、公共工事の動きが鈍い。民間工事は6月に入り活発になっており、材料費の値上がりによるコスト増に対しても、わずかながらの収益は確保できている。
一般機器 (金属加工)	受注は各組合員とも相応に抱えている。取引条件は利益面、納期とも相変わらず厳しいものが多い。
その他の製造業 (曲げわっぱ)	製造元各社では需要に生産が追いつかない状況が続いている。



【業界の声】 ~非製造業~

(回答数：48名 回答率：100%)

卸売業 (青果) 前年同月比103.5%で推移した。6月は比較的温暖で天候に恵まれたことで、野菜、果物の生育が良く、特にサクランボの売上が順調であった。

卸売業 (自動車中古部品) 6月に入り鉄価格が3回下がり、トン単価1,500円下落した。中古車輸出やオークション出品が多くなっており、使用済み自動車の入庫が減少してきた。

小売業 (電機) 前年同月比テレビ90%、冷蔵庫96%、エアコンが好調だったことで全体ではほぼ100%となった。

商店街 飲食店では昼食時、ある程度の客入りがあるが大幅な売上増は期待できない。(湯沢市)  
スーパーでは類似店舗の出店で、売上減少と必要人員の確保が難しい状況にある。(横手市)

サービス業 (建築設計) 今月に入って比較的小規模ながら5件の発注があった。この先も数件の受注予定があり、少しではあるが明るい兆しを感じる。

建設業 (総合工事) 激特災害工事の予想を上回る発注により業界には好況感が見られる。

建設業 (管工事) 公共工事に加え民間工事を受注しスムーズな施工に向け準備しているが、人員不足の状況にある。

運輸業 (トラック) 荷動きは前月よりは良いが好転しているとは言えない状況である。燃料価格は今月も前月より2円/ℓ上昇した。

その他 (砂利) 山砂採取の申請数量が増えたことで売上が増加した。